

むかいじま としょかんだより



京都市向島図書館

★『くつかくしたの、だあれ?』

913 ヤ

やまもと えつこ さく おおしま たえこ え
山本 悦子/作 大島 妙子/絵
どうしんしゃ
童心社



絵をいっしょにかくやくそくをしたのに、わすれているかなちゃん。ユキはかなちゃんにドッジボールに行ってほしくなくて、くつをクスノキのねもとかくしてしまいます。ところがそのくつが、そこからなくなってしまい…一体どこにいったのでしょうか。

★『なぞとき博物館 怪盗レパンをつかまえろ!』

933 メ

ダン・メトカーフ/作 番 由美子/訳
かやはち
kaya8/絵
かぶしがいしゃ
株式会社KADOKAWA



ロッチェとアレックスは考古学者のパートおじさんと、ロンドンにある大英博物館に住んでいます。ある夜、博物館に忍びこんだどろぼう怪盗レパン。宝物を守るため、ロゼッタストーンに書かれたヒエログリフからスタートして、次々と暗号を解いて手がかりを追いかけ、夜のロンドンを、大英博物館を駆け巡ります!

としょかんおすすめの本

★『さかなをたべる』 66

なかのひろみ/文 まつざわ せいじ/文
ともなが たろ/絵
アリス館



いつも食べているお魚。焼き魚にかまぼこ、ちくわやフライ。どんな顔して、どんな姿で泳いでいるのかな?たい、いわし、まぐろ、かつお、たらやアンコウなど、サカナヤ博士が、かわいいイラストで紹介!します。おいしくて楽しい一冊です。

★『騎士とドラゴン』 Eキ

トミー・デ・パオラ/作 岡田 淳/訳
ほるぷ出版



むかしあるお城に騎士がいました。すこしはなれたほらあなには、ドラゴンが。会ったことはないけれど、おたがいにあいてをやっつけるために、騎士は本を読んでよろいややりを作ります。ドラゴンは、しっぽを振りまわしたり、火をふく練習。さて、これでほんとうにあいてをやっつけることはできたのでしょうか?おもしろくておながすく絵本です。

あたらしくはいった本

★『しまうまのたんけん』 913 ト

トビイ ルツ/作・絵 PHP 研究所



しまうまの子どもは砂漠で会った王様に、見つけるとしあわせになれる『まぼろしのどうぶつ』に出会ったら、お城につれてほしいとたのまれます。『まぼろしのどうぶつ』を探しに、たんけんに出たしまうまは、ふたごぶらぐだを連れてお城にいきました。

★『泣けるぜ! 昆虫』 486

おかじま しゅうじ かんしゅう こぼり みのりこ え
岡島 秀治/監修 小堀 文彦/絵
がっけん
学研プラス



昆虫だってがんばって生きています。でも、オス同士がけんかをしている間に、メスをまた別のオスにとられていたり…そんなどこ泣けてしまう昆虫についてのお話がたくさんのっています。大人の人にも人気の本なので、おうちのひとと一緒に読んでみてください。

★『とてもおおきなサンマのひらき』

Eト

岡田 よしたか/作
ブロンズ新社



ある日、またやさんは市場でとても大きなサンマのひらきを買いました。さて、おうちへ持って帰って食べようと思ったところ、なんとサンマのひらきが暴れ。そのままどこかへ行ってしまう。次の日、市場へ行くと、とても大きなスルメが売られていました。今度こそ食べることができるのでしょうか。

★『ハッピーハンター』 Eハ

ロジャー・デュボアザン/作
あんどう のりこ やく
安藤 紀子/訳



ロクリン社
森のはずれにある家にすんでいるポピンさんは、ベンチにすわってパイプをふかしながら、まわりの丘や空や動物たちをながめるのが大好きです。そんなポピンさんが、いさましいかっこうをして森や野原をあるきまわりたいと、狩りをするときに。ちょっと変わったしあわせな狩りのお話です。



きょうとしょかん ほん か 京都市図書館で本を借りよう!

図書館の本はだれでも読むことができます。図書館カードを作れば、10点まで(CD・DVDは2点まで)、2週間借りることができます。

図書館カードは、京都市と宇治市、大津市にすんでいる人や京都市の幼稚園・保育園・学校に通っている人なら、無料で作ることができます。中学生以上の方はカードを作るときに、お名前とご住所を確認できるもの(生徒手帳など)が必要です。

ほかの人が借りている本や、ほかの図書館にある本を読みたいときは予約ができます。

読みたい本が見つからないときや調べものを使う本をさがすときなど、本や図書館のことはなんでも図書館の人にきいてください。



★『あいうえおのきもち』

911 ヒ

ひろかわ さえこ/作
こうだんしゃ
講談社

No
Image

「あ」の気もちって、どんな気もち? 「い」って言ったら、どんなかんじがする? 「あ」から「ん」までそれぞれのひらがなから、いろんな気もちがうかんできます。やさしくてみずみずしい言葉があふれる詩の本です。

★『赤いマントをほどいた日』

913 コ

香山 美子/作 すずき 義治/絵
フレーベル館



まほう使いのおばあさんが、ある日まほうをとくまほう使いになろうと決めました。じゅもんを思い出しながら、どんどんまほうをといいていきます。すると、家にあるものがどんどん元のすがたにもどっていきます。一体どうなってしまうのでしょうか。



京都市向島図書館

伏見区向島二ノ丸町151-35 ☎ 075-622-7001

あいている時間:

- 午前9時30分から午後5時まで
 - 月曜日・木曜日(祝日以外)...
- 午前9時30分から午後7時まで

午後5時から午後7時までは、こどもだけで図書館を利用することはできません。かならず大人の人といっしょにきてください。

おやすみの日:

- 毎週火曜日(火曜日が祝日のときは、その次の日)
- 年末年始

京都市向島図書館ホームページ

<https://www.2.kyotocitylib.jp/?page.id=352>



このQRコードは向島図書館のホームページのトップページにつながります。